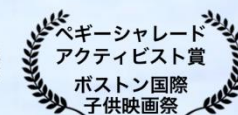
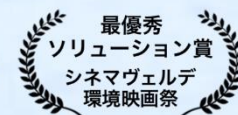
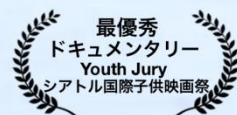
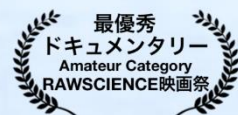
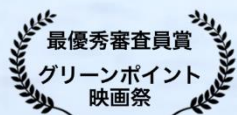
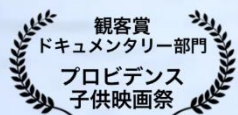


# 「マイクロプラスチック・ストーリー ～ぼくらが作る2050年～」



## 映画上映

18:00～19:25

## 監督トーク

19:30～20:30

佐竹 敦子さん

共同監督・プロデューサー・撮影編集  
環境活動家・ドキュメンタリー映像作家



海のあるまち 逗子。  
学校の先生方、  
子どもたち、家族や友人と。  
みんなに観てほしい。

### 5月は世界フェアトレード月間

食べて応援!

フェアトレード×ローカル

1～31日 @市内協力店舗

図書展示

「世界とつながるフェアトレード」

7～22日 @図書館

パネル展示

「フェアトレードタウン逗子」

20～31日 @交流センター

逗子珈琲リニューアル販売

22～23, 29～30日 @交流センター

100万アクションキャンペーン

1～31日 @オンライン

【費用】無料

【定員】先着100名 \*市内在住者優先

【視聴方法】オンライン (Zoom)

【申込方法】5月7日(金)以降 ①住所②氏名③電話番号

④メールアドレスを、市ホームページ申込フォーム、  
電話・FAXで、または市民協働課窓口へ

\*映画上映&監督トーク申込み、各イベント詳細はQRコードから



お申込み・問合せ先：市民協働課(市役所3階)

TEL 046-872-8156 (直通) \*平日8:30～17:00 FAX 046-873-4520

主催：逗子フェアトレードタウンの会・逗子市 協力：シネマ・アミーゴ

# 生徒たちはプラスチック汚染問題の解決策を見いだせるか？

映画はニューヨーク、ブルックリンの5年生たちが世界的に大きなプラスチック汚染問題を学び、彼らの視点でこの問題の根幹が何かを問いただし、解決に向かって自分たちのコミュニティからアクションを広げて行くまでの2年間の追った長編ドキュメンタリーです。



監督・プロデュース：佐竹敦子 & デビーリー・コーヘン 制作：カフェテリア・カルチャー

## ストーリー

ブルックリンの子どもたちが、プラスチックはごみになってからだけでなく、生産の過程でも地球環境を汚染していることや、気候変動に関わっていることを発見します。

子どもたちの素朴な疑問を丁寧に重ねながら、専門家がそれに答え、アニメーションを使いながら、プラスチック汚染問題を子どもから大人までわかりやすく解き明かしていきます。子どもたちのまっすぐな熱意から希望があふれるこの映画は世界30の映画祭に選ばれ6つの賞を受賞しています。

映画公式サイト & 予告編 [microplasticstory.org](http://microplasticstory.org)

## 監督プロフィール 佐竹 敦子さん

共同監督・プロデューサー・撮影編集 環境活動家・ドキュメンタリー映像作家

1966年生まれ。埼玉県さいたま市出身。ニューヨーク市マンハッタン在住。2児の母。

93年に広告代理店を辞職して単身渡米、ニューヨークで17年間映画、コマーシャル、テレビ番組などの制作プロデュースに関わる。2007年からボランティアで続けていた食育と環境教育活動が、2010年より本業に。

主な作品に「School Lunch in Japan - It's Not Just About Eating」、「みんなの海だから」(2013)など。8つの映画祭に入選、NY市国際映画祭での最優秀短編ドキュメンタリーを受賞した他、コスタリカ、インドの映画祭でも受賞。日本大学芸術学部放送学科卒業。

## カフェテリア・カルチャー

2009年設立のニューヨーク市を拠点とする非営利(NPO)の環境教育団体。公立小中学校での環境教育プログラムを活動基盤とし、学校を拠点とした政策提言活動やプラスチック削減などのキャンペーンに取り組んでいる。設立契機はニューヨーク市の学校給食で使用されていた発泡スチロールのトレー廃止を主導(Styrofoam Out of Schools)したことから。それが全米10都市での廃止に繋がり、現在約年間5億枚の発泡スチロールトレーが堆肥化できるトレーに変わっている。常に、科学とデータに基づいた問題解決策を生徒たち自身でデザインして行くこと、メディアやアート、ビジュアルを駆使してメッセージを伝えて行くことをモットーに、子ども達が環境問題だけでなく様々な社会問題に対する自分たちの声を発信し、アクションを起こすスキルを身につけるためのプログラムを提供している。 ウェブサイト：<http://www.cafeteriaculture.org/>

## 鑑賞者コメント

私たちはプラスチックをアンフェアに使いすぎ、捨てすぎ、地球と私たちの生命をも危機に陥れてしまっています。買物、そして生活を人と地球によりフェアなものへ、私たちの暮らしの中の選択を見直す必要に迫られています。

逗子フェアトレードタウンの会 共同代表 長坂 寿久

テンポの良さ、わかりやすさ、子どもたちの表情、そして実際に米国で広がった変化。すべて素晴らしく、子どもたちと市長とのやりとりにはシビれました。私も、地元の子どもたちと動きだしたくなりました！

一般社団法人そっか共同代表 小野寺 愛